

# 大槌町景観形成ガイドライン

〔概要版〕

海が見えるつい散歩したくなる  
こだわりのある「美しいまち」

おもてなしの気持ちをこめて、人にやさしく暖かなまちをつくりましょう

大槌町では新しい復興まちづくりにあたって「風景の再生」を目指しています。

町民が地域に誇りと愛着をもつために、また多くの来訪者が魅力を感じられるように、周辺の自然と調和したまち並みをつくり、美しい風景を再生していくことが町の将来にとって大切なことと考えています。

この景観形成ガイドラインは、町民のみなさんが、まちづくりについて話し合いながら美しい風景の再生を行うことができるように、その指針を示すものです。



平成27年6月 大槌町

# 民間の住宅・商店等の景観づくり

## ■基本方針

- ①おもてなしの気持ちをこめて、人にやさしく暖かなまちをつくりましょう
- ②地区住民の日常的な居場所となる場所や建物のしつらえを大切にしましょう
- ③大槌町の特徴や文化を表している景観を保全・復元しましょう
- ④大槌町の海、川、山と調和した建物を建てましょう
- ⑤通りに開かれたまち並みづくりを目指しましょう
- ⑥昔の記憶をとどめながら、安心安全な町をつくりましょう
- ⑦住民どうしが話しあい、協力しあって魅力的なまちをつくりましょう

## ■景観づくりのガイドライン

### 建築物

- ①勾配屋根を設けるようにしましょう
- ②できるだけ地場産材や白壁などの自然素材を使いましょう
- ③屋根や壁の色は落ち着いた色調にしましょう
- ④おもてなしの表現をしましょう
- ⑤建築物のデザインにルールをつくり地域でまち並みをつくりましょう

### 緑化

- ①緑豊かなまち並みをつくりましょう
- ②みんなでシンボルツリーや地域らしい草花を植えましょう

### 塀や柵

- ①塀や柵を設けず隣地とコミュニケーションをとりましょう
- ②柵や塀を設ける場合は生垣や板塀などの自然素材にしましょう

### 照明

- ①玄関先に最小限の灯りをとしましょう
- ②過剰な光が周囲に散乱しないよう努めましょう

### 広告物

- ①看板やサインなどの広告物は控えめですっきりしたデザインにしましょう
- ②目立ちすぎる看板やサインは使用しないようにしましょう

### まちかど ・路地

- 1 コミュニティの場づくり
  - ①通りに面してベンチやイスを置いて休憩できる場所をつくりましょう
  - ②少しずつ土地を出し合って共有の場所となる通り抜け道をつくりましょう
  - ③通りから見える位置に縁側をつくってお茶っこをしましょう
  - ④まちかどに井戸端会議の場を設けましょう
  - ⑤バス停はベンチと屋根がある空間にしましょう
- 2 大槌町の魅力の表現
  - ①まちかどで町の自慢の品を見せましょう
  - ②まちの名物を PR しましょう
  - ③行事やイベントでまちかどや通りを飾りにぎわいをつくりましょう

① 勾配屋根を設けるようにしましょう

これまでの景観の再生を図るために、勾配屋根の住宅としましょう。

② できるだけ地場産材や白壁などの自然素材を使いましょう

地域の自然素材を用いることで、自然と統一感のあるまち並みが形成されます。



地場産材を活用した大ケロ災害公営住宅

③ 屋根や壁の色は落ち着いた色調にしましょう

反射する素材や色は避けましょう  
純色は極力避けましょう



④ おもてなしの表現をしましょう

暮らしている人も、来訪者も歓迎されていることが視覚的に伝われば暖かな気持ちになり、居心地の良い町だと感じるでしょう。



ベンチやのれんは歓迎の表現になる



開放的な雰囲気と草花等による歓迎の表現

⑤ 建築物のデザインにルールをつくり地域でまち並みをつくりましょう

地域で話し合ってルールを決めることで魅力的なまち並みの形成を図ることができます。



屋根の形や壁のデザインにルールを設けた例

① 塀や柵を設けず隣地とコミュニケーションをとりましょう

② 柵や塀を設ける場合は生垣や板塀などの自然素材にしましょう

地域の自然素材を使うことで、地域に調和したまち並みの形成につながります。



ブロック塀、高いフェンス、有刺鉄線などは周囲を拒絶する印象を与えるので極力使わない

1-③ 通りから見える位置に縁側をつくってお茶っこをしましょう

隣近所のコミュニケーションの場になり、高齢者の見守りや避難時の呼びかけのしやすさにもつながります。



① 緑豊かなまち並みをつくりましょう

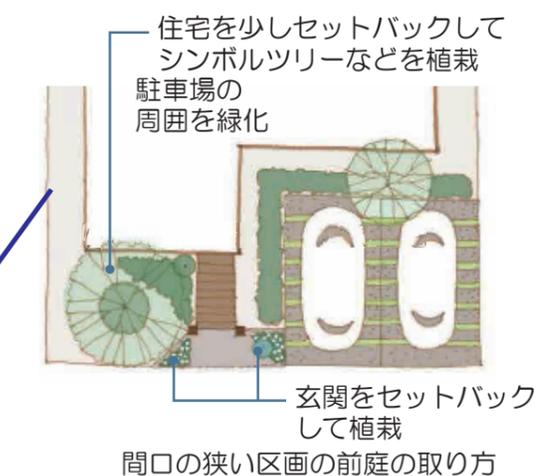
敷地に応じてできる範囲で、緑化に取り組んでいただくことがまち並み形成にとっても大切です。



駐車場を斜めにとることで緑化



門の周りの花鉢による緑化



② みんなでシンボルツリーや地域らしい草花を植えましょう



新山ツツジ (レンゲツツジ)

## 照明

- ① 玄関先に最小限の灯りをとみましょう  
玄関先に灯りをととして、町の安心・安全を高めましょう。
- ② 過剰な光が周囲に散乱しないよう努めましょう  
屋外照明を設置する場合は、光源の種類、位置、光量及び配光特性に配慮し、点滅する照明は使わないようにしましょう。

## 広告物

- ① 看板やサインなどの広告物は控えめですっきりしたデザインにしましょう
- ② 目立ちすぎる看板やサインは使用しないようにしましょう



屋外広告物は極力大きさを抑えて、すっきりしたデザインにしましょう。



派手な色彩、ネオンサイン、動画や点滅表示を用いた屋外広告物などは使わないようにしましょう。

## まちかど・路地

### 1 コミュニティの場づくり

1-① 通りに面してベンチやイスを置いて休憩できる場所をつくりましょう



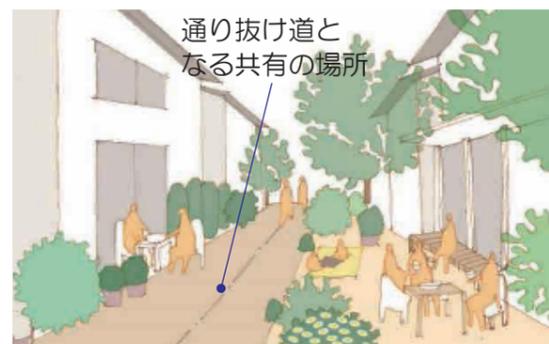
通り沿いの公園にあずまやを配置



店の前にベンチを置いている床屋さん

1-② 少しずつ土地を出し合って共有の場所となる通り抜け道をつくりましょう

避難にも便利で、車の入らない通り抜け道を、隣近所で融通し合って共有の場所として設けることを検討しても良いでしょう。



### 2 大槌町の魅力の表現

2-① まちかどで町の自慢の品を見せましょう



手づくりの虎舞の面

2-② まちの名物をPRしましょう



軒先につるされた新巻鮭

2-③ 行事やイベントでまちかどや通りを飾りにぎわいをつくりましょう



大槌時代絵巻

おもてなしの気持ちを込めて、人にやさしく暖かなまちをつくりましょう



大槌町は東日本大震災が発生してから5年目を迎え、ようやく本格的な住宅再建が始まろうとしています。

町では、住宅再建を目指す方々の役に立つガイドラインを作成することとなりました。

専門家の方や住民の方と目指すべきまちの姿について話し合う中で、復興を進める中で築かれた人同士の絆や、信頼関係がまちの中で感じられること、暖かな気づかいにあふれていることなど「人が大切にされるまち」づくりに共感が集まりました。

具体的なまちの姿としては、歓迎の気持ちを表すような草花や緑にあふれ、人を拒絶する高い垣根をできるだけ無くして、隣人の顔が見えるオープンな家づくりなどがイメージとして共有されました。

このリーフレットはそうした考え方に基づいて、具体的なデザインの参考になる事例を掲載しています。どうか、隣人あるいは地区の方々と話し合いながら、新しい住宅再建の際のヒントとして役に立てていただければ幸いです。



歓迎の気持ちが感じられる玄関先の草花